

カヌーで開いた小さな窓・興味尽きない湧別川

—第11回ふるさと講座を受講して— 山本重幸

今回で11回目を迎える「ふるさと講座」。毎回、地域の「本当に貴重な町の自然、文化、産業」をテーマに掘り下げて、紹介していただいています。毎回欠かさずという訳にはいきませんが、受講する度に「へえ〜」「なるほどお〜」と感心して聞いています。

今回は「湧別川」。川の成り立ちと集落形成のお話、治水と保全のお話、川に親しむお話と観点を改めての講演に聞き入りました。

何万年も前から川の形成とその毛細血管のように扇状地に広がった川を通して、縄文からアイヌ文化時代、現代へと集落づくりと人々の生活を支えてきました。今の私たちも同じ水を飲み、鮭などの魚を食べて生かされていることに驚きと親しみをもちました。

湧別川の歴史の中で開拓の歴史は瞬き程の長さですが、屯田兵の入植の頃から暴れ川である湧別川を治め、水資源を活用して安全で豊かな里地がつくられてきました。悠久の時代から開拓時代、現在までと、命と生活を紡いできた湧別川と先祖に感謝の念を持ちました。

当クラブの絹張会長からは、YU-PALの活動を紹介しながら湧別川の魅力をお話ししました。聞かれた皆さんは共感されたでしょうか？

私たちの世代は「川に行ったらダメよ」と言われたものです。勿論、水の危険から子どもたちを守るためですが、一方で川の危険と素晴らしさを知る機会を遠ざけたように思います。

YU-PALは大人の活動ですから自己責任が基本です。ですが家族も巻き込んだ活動もあるので、安全のためパドルスキルを身に付け、レスキュー、救命措置を学び、水質を調べるといったって真面目に取り組めます。川の事故への備えへ怠らずですが、肝心のカヌーの楽しさは何処へやら。

そんな私たちですが、カヌーで湧別川に漕ぎ出すと 風が爽やかで、波しぶきが少しの緊張を与え、緑とせせらぎが心地よく、「やっぱりカヌーは楽しい！」と 毎回思います。

開盛頭首工から河口までの下流域は「アトラクションのような川」と言う人もいるほど、緊張する瀬とゆったりする瀬場が繰り返されます。

瀬場でゆったりしていると、オジロワシやショウドウツバメ、カワウが飛び、水中にはヤマメやニジマス、鮭などが泳ぎ回り、時にはキタキツネやエゾシカ等にも出会います。きれいな水と堤間に広がる河畔林や河原に生まれ、よく聞く名前の動物や鳥、魚、植物が豊富に棲む河川であり、興味は尽きません。

今回、身近な「湧別川」の成り立ちを探り、治水と保全を考え、川の楽しさ、大切さを知る貴重なお話を楽しく聞きました。

カヌーが楽しくて始めた私たちの活動ですが、そのカヌーが身近な湧別川への興味・関心への小さな窓を開いてくれました。そして、今回、湧別川の成り立ちや歴史、治水、生態系等への理解を広げることが出来ました。

ふるさと講座が、ふるさと湧別町を知り、より好きになり、そして新しい魅力を発見する契機となることを願っています。

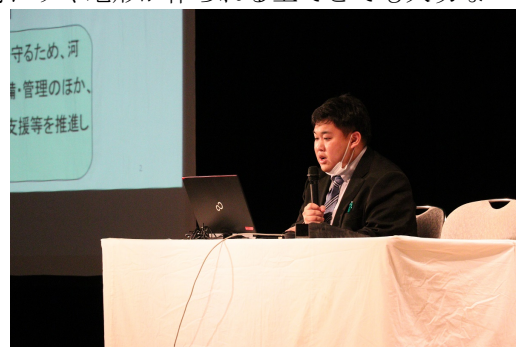
最後に主催された「ふるさとから学ぶ会」や教育委員会の皆さんに心から感謝を申し上げます。
(錦町在住 山本重幸 ゆうべつアウトドアクラブ YU-PAL 副会長)

湧別川を治め
豊かな里地に
湧別川と
先祖に感謝



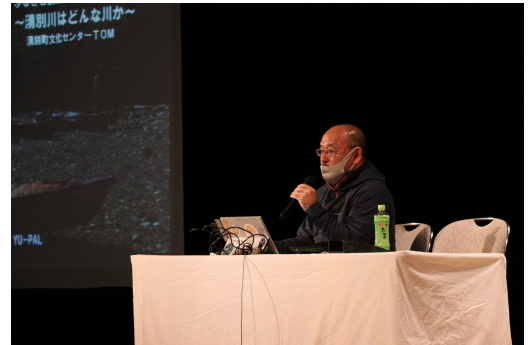
<講座参加者の感想・意見～アンケートから>

- ・普段から湧別川を見る機会がありますが、川について深く考えることはなかったので、どのお話も大変興味深かったです。湧別川は身近な存在ではありますが、人との関わりや地形が作られる上でとても大切なものだとよくわかりました。また、川沿いに住む野生動物にも配慮した工事をしているなど、湧別川を守っていこうという意識の強さも感じました。湧別川の地形、地質やはじまりの一滴のお話など、川の奥深さを実感することができました。(30代、女性、遠軽)
- ・興味深いお話ありがとうございました。大変勉強になりました。(60代、男性、上湧別)
- ・湧別川のルーツから、今現在の生活やアウトドア活動を通しての関わりがわかり、より身近に感じられるようになりました。(20代、女性、湧別町内)
- ・湧別川の貴重な資料や講話を聴けて勉強になりました。歴史についても知ることができたのですごく楽しかったです。地域遊びにも参加してみたいと思いました。(10代以下、男性、湧別町内)
- ・学校で自分自身が行っている内容と関連しているため参加したのですが、湧別川の歴史など深くまで学ぶことができとてもいい経験になりました。今日学んだことを学校で調べている内容にも活かしていきたいと思います。(10代以下、女性、湧別町内)
- ・昔から湧別川の近くに人が住んでいたことを知ることができた。地図がありとても見やすかったし、昔の地図もあったので比較をすることができ、とても良かった。(10代以下、女性、湧別町内)
- ・湧別川がいかに魅力的な川なのかということがよくわかり有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。(50代、男性、上湧別)
- ・色々な角度から湧別川の事がわかり、大変勉強になった。(50代、男性、上湧別)
- ・湧別川のこと何にも知りませんでした。地域と共存するため。命を守り暮らしを支える。東側にも堤防を!! 陳情してもらいたい。カヌーに乗りたい。(ゴミひろいもやりたい。)参加したい。(60代、男性、遠軽)
- ・話が広範囲で、時間が足りず、早口で聞きづらい。もう少し内容をしぼって、ゆっくり話してほしい。時間と内容と範囲を考えてほしい。(70代、男性、湧別)
- ・自分で調べていた湧別川の歴史や成り立ちなどに、新しい情報を追加することができました。(40代、女性、中湧別)
- ・湧別川の成り立ちから人との関わりについて、大変勉強になりました。昔の湧別川の地図を見ると、移り変わりや人がどのような考えで治水が行われて来たのか、はじめて目にする資料も多くあり、今まであまり意識をしていなかった湧別川が身近に感じれる機会になりました。(20代、男性、遠軽)
- ・講師の方々の資料等など集めて発表に至るまでの御苦労に感謝します。ありがとうございました。・湧別川のことあらためていろいろ知りました。・湧別川すてきです。(60代、女性、湧別町内)
- ・こちらに来て2年目で、まだ湧別川へ行行った事がないが、来年の夏にはぜひ行ってみようと思う。(60代、女性、湧別町内)
- ・川の役割や特徴をもう少し具体的にやさしい説明があったらよかったですと思います。(80代、女性、上湧別)
- ・普段知ることのできない湧別川の成り立ちを知ることができ、今後の生活に生かせそうです。湧別川の最初の一滴も初めて知りました。(40代、女性、遠軽)
- ・1部では湧別川と歴史について調べ、話もおもしろくまだ聞きたいと思う場面が多かった。進むスピードが早く追いつくのが大変だった。2部では内容がしっかりまとまって良かったが資料と同じことを話しているだけなのが残念だった。後半では湧別川の魅力がこんなにもあるのかと実感した。知らなければもったいないという言葉が心に刺さった。(20代、男性、湧別)
- ・今後も毎年実施して頂きたい。(50代、男性、遠軽)
- ・貴重な資料の数々、大切に保管します。(60代、男性、上湧別)
- ・古地図が見たことのないもので興味深かった。・湧別は扇状地であろうと思っていたが、少し違うのかと思った。氾濫原から原野が形成されたことがよくわかった。・アイヌ語の語源について諸説あることは知っていたが、細かい解説でより深く理解できた。・カヌーがとても楽しそうに思いました。(40代、男性、湧別)
- ・第2部の説明は資料を読むだけでわかりやすい説明とはいえない、資料の中の字が小さく読みにくい。・絹張さんの説明を資料として印刷してほしい。(70代、男性、上湧別)



- ・地域、地元のことを知ることで、愛着が増した。楽しそうなアウトドア活動をしているクラブがあることが知れて良かった。(50代、女性、遠軽)
- ・今年4月に越してきて、この地に初めて住むことになりました。このような機会でも地域のことを知ることができ、大変有意義な時間を過ごせました。(40代、男性、遠軽)
- ・昔は災害が多かったと聞き驚きました。また、湧別川の周囲には多くの生き物が生息していると知り、実際に見てみたいと思いました。これから子育てをするので子どもには自然体験をたくさんさせたいと思います!(20代、女性、上湧別)
- ・水道の蛇口をひねる時、湧別川に思いをはせるようになります。川は生きているんですね～(70代、女性、湧別町内)

- ・大変勉強になりました。子供のころからあたりまえのように湧別川がありました。これからはもっと関心を持って勉強していきたいと思いました。ありがとうございました。（60代、女性、遠軽）
- ・恵まれた地域に暮らせていただき不自由なく水のおんけいにあずかっています。今後ともこの川による災害がない様祈ってます。（70代、女性、湧別）
- ・水質について疑義あり、特に生田原川流域、酪農地域や町中からの汚水がダイレクトに放流され、下流の湧別川合流地点より湧別町の水道水を汲み上げているのだが、本当に安全な水質確保できている保証はあるのでしょうか。東山浄水場でヤマベで検査?? 大丈夫? 町民の健康を守るのは誰!?(70代、男性、上湧別)
- ・こんな時期なのに沢山の参加者があり、皆さんが関心を持っていることが良くわかりました。「お宝発見ツアー」が2度も中止になりました。次回は開催できるといいですね。（70代、女性、中湧別）
- ・大変勉強になりました。（50代、男性、中湧別）
- ・1. KP（キロポスト）上流、中流、下流の定義? 2. 水質調査の現状は? 水生昆虫の有無・種類 etc. 3. 資料ありがとうございました。（80代、男性、中湧別）
- ・北海道開発局の講師の方、質問に答えられていません。残念です。（50代、男性、中湧別）
- ・川の新しい発見があった。（50代、女性、湧別）
- ・たくさんの人と一緒に湧別のことを考えられて幸せでした。・川の成り立ちから丁寧に説明があり、とても分かりやすかったです。・地図が大きく、川の当時の流れがよく分かりました。・開発局の方に川についてくわしく話聞いてよかったです。・いつも色々な視点から講座が構成されていて、たくさんの方のお話が聞けてとても勉強になります。次回以降もとても楽しみにしています。また参加させて下さい（30代、女性、上湧別）
- ・開発建設部さんの話が一方通行。（70代、男性、湧別）
- ・出合橋の川は何という名だろう。武四郎が舟をひっくり返した所はどこだろう。種馬所を通る川の名は? 中国人が日本の土地を買う? 危険? ×オホーツク管内 北見国が正解。（80代、男性、湧別）
- ・すごく勉強になりました。でも少しむずかしかったです。雄大な湧別川はほんとうに素敵です。インスタ



- にアップすると全国の人が感動しています。あたり前にあるけど、唯一無二の湧別川だと思います。今日はさらに身近に感じました。ありがとうございました。（50代、女性、上湧別）
- ・もう少し具体的に報告してほしい。（特に開発局の応答がわかりにくかった）（70代、男性、湧別町内）
- ・大変良かったです。（70代、女性、湧別）
- ・地元にいるといつもの風景、いつもの事なので気づかないでいます。・私はUターン者なのですが、すぐにいつもの生活になっしまい、今になって知ろうとしています。（60代、女性、中湧別）
- ・NHK自然百景の「湧別川 春から夏」（70代、女性、中湧別）
- ・会場からのしつもんが多くて驚きました。湧別の人々は勉強熱心

- です。開発局の人との問答がかみ合っていないのが気になりました。（50代、男性、遠軽）
- ・楽しかったです。（70代、女性、中湧別）
- ・◎はじめに、44号YFOの記事、そして冒頭の梅田さんのお話にとっても共感しました。（私も、NHKさわやか自然百景を見ました。ふるさと（地元）の自然が全国に流れ、うれしかったです。）私たちは水道の水が「湧別川」の水とは思わずに毎日、命を与えてもらっています。川と暮らし、自然と暮らしを結び付けて考えることがとても少なくなっている今こそ、川について考え、学ぶべきだと思います。そして、未来を生きる子どもたちにも、ぜひ深く学ばせたいと感じています。梅田さんのお話が心に響きました。このような企画を立てていただいている会の皆様に感謝いたします。（私も小さい頃は、よく川で遊びました。今の子どもたちにも、安全に気をつけながらも川とふれあい、体験を通して学ばせたいと思っています。）
- ・中島館長さんのお話・・・様々な昔の川の地図が示され、川と人の関わりが歴史的によくわかりました。
- ・上嶋さんのお話では、現在の川の概要について、専門的な視点から解説していただき、よく理解できました。
- ・絹張さんには、いつも川の学習などでお世話になっています。何と言っても川を楽しむ、川とふれあう、体験から感動が生まれて自然を大切にすることが生まれるのだと感じました。
- ◎「湧別川」は「サロマ湖」などと並び、とても魅力的な学習教材です。日頃から、子どもたちの体験を重視し、地域の人々や自然、お友達とかかわりながら、ふるさとを学ぶ、ふるさとから学ぶ、そして未来へつなげる新たな価値を見つけ、自分の生き方を考え続ける人を育てたいと考えています。今、私たちは地域と共に学ぶ学校を目指しています。今日は大へん有意義な時間でした。どうもありがとうございました。今後もまた勉強させていただければと思います。（湧別小学校 秋山康則）



講座は、84名（一般63名、関係者21名）の参加で行われ、67人の方から、アンケートの回答をいただきました。ありがとうございます。

ふるさと講座「湧別川」の講演を終えて

中島一之

講座はいつものふるさと講座の手法である多面的なアプローチであったと思います。

開発局の上嶋さんは、治水に携わった視点。長年の工事の変遷が示された写真はとくに興味深く見させてもらいました。また面白かったのは、ごみの発生ポイント。やはり橋の周辺は多いという統計はなるほどと納得しつつ、現場を知るものならではのデータだと感心しました。

絹張さんのアウトドア活動の紹介はこれもまた、長年活動を実践されているので、見たことがない山からや川の中からの視点など、新鮮な情報が豊富でした。来場者の方もとても関心が高く、アンケートで活動への意見が多かったのは当然でしょう。また、開発局のショウドウツバメへの配慮や、ふるさと館 JRY での活動の紹介などは、何度も講演を経験しているからこその他講師へのご配慮でした。

自身の発表を振り返ってみます。博物館学芸員の仕事は資料の保存や提供です。今まで知らなかった情報の提供をと考え、治水以前の湧別川の地図を提供できたことで私としては満足しているのですが、全体として情報が多かったとのご意見もあったようで、この点は少し反省をしています。

今回は特に「共に学ぶ」ということを強く感じました。その理由は、会場からの質問。本当に驚きました。「湧別川河口部の曲がり具合は？」「サロマ湖との関連性は？」などなど、私が触れられなかった重要な点への指摘があったからです。事前に打ち合わせをしていたかのように思いました。（もちろんそんなことはありません。）質問者の方は短時間の間によく気が付かれたと思いますし、内容を補完するもので、とても助かりました。会場ととともに講座を作り上げていると強く実感しました。

今回、講演資料にはなくて、発表スライドしかないものが多くあったと思います。著作権の問題や、仮説の段階のものがあったからです。配布資料は残るものですから、こうした部分への配慮は十分に考えなければなりません。これは上嶋さんも絹張さんも同様だったと思います。上嶋さんはやはり開発局を代表して話されている以上、講演の内容は慎重に準備されたことと思います。特に質問の対応は特に難しいものがあったのではないかと考えます。絹張さんは活動時の写真が多かったので、肖像権の問題もあり資料配布を行わなかったのではないのでしょうか。

私は人前で話すのは得意ではないので講演はできれば辞退したいものです。梅田代表は、機会がある度にふるさとから学ぶ会での話題や、新しい情報の提供などをいつもしていただいています。時に地域史などについて熱い議論をすることもあります。このときに、本当に自由な発言をさせていただけるのは、やはり教師であったご経験からでしょうか。共催であること以前に、そんな梅田代表に「講師やってくんない？」と言われると、当然なかなか断ることができません。他に講師を引き受けられた方も、梅田代表の人柄、行動力で口説かれたのではないのでしょうか。毎回、幅広い分野の講師が招かれるのはそのことが大きいと感じています。

さて、ふるさとから学ぶ会の活動は今まで何度か博物館の会議等で紹介させていただきました。自主自立の社会教育活動として理想的な形だからです。今回も 84 人もの参加者が集まりました。魅力あるテーマの選択、参加者の勧誘などなど、運営スタッフの手腕が存分に発揮されていました。経験的に講座や研究会の雰囲気は、運営スタッフで決まると感じています。今回も受付での会員の皆さんの暖かい対応、そして司会の多田さんの柔らかな口調にはじまり、梅田代表の今回の主題に対する熱い想いのあいさつ。私が演台に立った時、それらの成果として参加者のみなさんの穏やかな雰囲気と講座への意気込みを感じ取ることができました。回を重ねるごとに参加者の幅が広がりや期待感も高まっていると思います。

梅田代表を中心に魅力的なメンバーがいる「ふるさとから学ぶ会」の活動が続いていくことを期待しています。微力ながら、今後も資料提供など出来ることで支援をしていきたいと思いました。

(ふるさと館 JRY 館長 中島一之)



私たちの知らない湧別川の“歴史”や“特徴・魅力”を貴重な資料や映像を準備して、分かり易く講義していただいた中島さん、上嶋さん、絹張さん、ありがとうございます。講義を通して私たちが住む湧別の地が豊かなのは、湧別川が在り、湧別川の大切さを知る人々の努力があるからだと思ふ、湧別川への関心も深まりました。環境へ配慮しながらの治水にも感動しました。

お忙しい中、参加され、率直なご意見、ご感想を寄せいただいた皆様、ありがとうございます。全面的なご協力をいただいた遠軽開発事務所の皆様の心遣いに心から感謝申し上げます。

皆様のご協力により、とても有意義な講座になりました。ありがとうございます。(梅田)